

## 活動報告——平成二十八年度

◇平成二十八年四月二十三日（土）に第三十五回大会を開催した。大会終了後総会を開き、平成二十七年年度の会務、会計報告を行った。

◇同日付で会誌『お茶の水女子大学中国文学会報』第三十五号を発行した。

### ——平成二十八年度例会記録——

第一回例会（大会） 四月二十三日

・敦煌写本「目連縁起」の特質

伊藤美重子

・王安石と江寧

和田 英信

第二回例会 七月二日

・曹植「洛神賦」の構造について

角 祥衣

・五四時期における人力車夫表象——胡

適・魯迅・郁達夫の比較を通して

魯 純

第三回例会 九月三日

・郊廟歌辭の形式化に関する一考察——漢から魏晉にかけて 鄭 月超

・从焦点理论浅析动词后的“了”的焦点提示功能 林 如

・离合词的语义对表示人的成分的影响

郝 静

・様態描写における“着”と“起来”の意味的相違 許 芸涵

第四回例会 十二月三日

・「水のなかの何か」再考 古典詩における水中倒影表現 水津 有理

・耶律楚材の詩人像について白 蓮杰

・『台湾を知るための60章』刊行をめぐって 赤松美和子



## 卒業論文・修士論文題目

### 平成二十八年度三月卒業（四名）

飯島 明佳 日本語の中国語訳に見られる傾向について――

街角篇

笠原 真奈美 越劇の研究――宝塚歌劇団との比較を中心に

島野 紗妃 日中の歴史認識と対日・対中感情の研究――中

国映画「南京！南京！」を通して

中間 友美 『説文解字』 人部についての考察

### 平成二十八年度三月修了（七名）

黄 唯 沈從文の「文学啓蒙」思想について

呉 王菲 現代と文学革命時代の留学作品による異なる

文化受容変遷の比較――郁達夫、閻真の小説を  
事例に

鈴木 涼子 定格聯章体の敦煌歌辞について

高山 恵梨華 『太平広記』における嫉妬譚――嫉妬と内外と

男女

董 子華 六朝志怪に現れた道教植物観――怪異に関わる

草木を中心として

鄧 翔心 現代中国語における様態補語の意味指向およ  
び「V」得「N・VP」文における“得”の

後ろの統語構造について

馬場 千春 虚指の“他”の文法的機能について